

国土交通省東北地方整備局

局長 西村 拓 様

要 望 書



[国道 49 号の渋滞状況]

2024 年 11 月 27 日

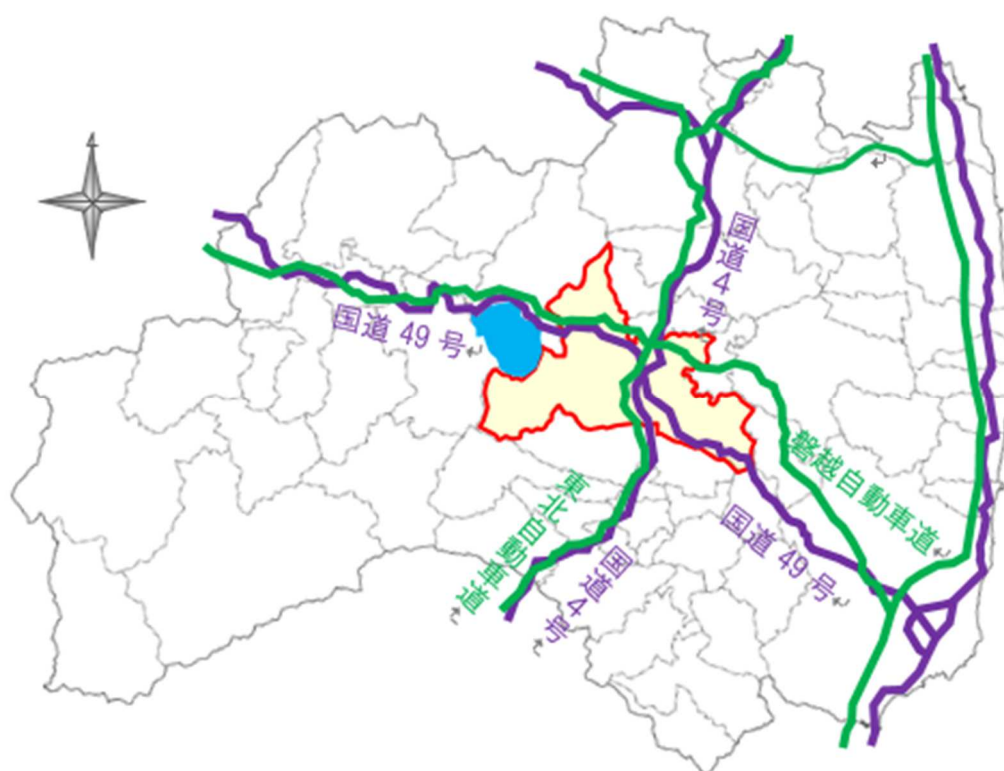
郡 山 市 長 品 川 萬 里

郡山市は、福島県の中央に位置し、北に安達太良山、東に阿武隈山系、西に猪苗代湖と豊かな自然に囲まれている一方で、南北に東北自動車道、国道4号、東西に磐越自動車道、国道49号が走り、それぞれが交差する交通の要衝として福島県を牽引する中核拠点となっております。

また、本市は、2019年7月に県内で初めて「SDGs未来都市」に認定され、【誰一人取り残さない持続可能な社会の実現】のSDGs理念のもと、現在直面する「2024年問題」をはじめ、様々な問題への対策や備えとして、安全で円滑な交通体系の形成や良好な生活環境の形成を推進しております。

しかしながら、本市の市街地部では慢性的な渋滞が発生し、道路状況の悪化だけではなく、それに伴う環境負荷も非常に高い状況が続いております。

こうした状況を踏まえ、東北地方整備局におかれましては、下記の事項につきまして安定的・持続的に予算を確保していただき、特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。



目 次

1. 公共事業関係費の大幅な増額と安定的・持続的な予算の
確保について 1
2. 国道 49 号（富田地区）におけるバス停留スペースの確保
について 2

1. 公共事業関係費の大幅な増額と安定的・持続的な予算の確保について

近年、道路を取り巻く課題は多様化してきており、多種多様な企業や産業、工場等が立地する本市内では、市街地を通る幹線道路に交通が集中することで慢性的な混雑が発生し、通学児童・生徒の安全確保や地域住民の生活の支障となっております。公共交通や代替ルートが発達した都市部とは異なり、移動手段として自動車に依存する割合が高いため、命と暮らしを守る重要なインフラ整備は地域住民の切なる願いとなっております。

また、今年1月の能登半島地震をはじめ、各地で頻発している局地的豪雨などの大規模自然災害の備えとして、「防災・減災対策」・「老朽化対策」を含めた「国土強靱化」の推進が喫緊の課題と考えております。

つきましては、これらの状況を踏まえ、下記の事項について特段の御配慮をお願いいたします。

- (1) 2024年度補正予算並びに防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる2025年度においても、計画的・安定的な事業の推進に結び付く必要な予算・財源を確保すること。
- (2) 資材価格の高騰や賃金水準の上昇等も加味した上で、必要な道路整備・管理が計画的・長期安定的に進められるよう、2024年度補正予算並びに2025年度道路関係予算は所要額を満額確保すること。

2 国道 49 号（富田地区）におけるバス停留スペースの確保について

本市を走る国道 49 号は、緊急輸送道路並びに重要物流道路として地域間交流や経済活動を支えるとともに、災害時には緊急車両や救援物資の輸送を担う非常に重要な路線となっております。



しかしながら、市街地部においては慢性的な渋滞が発生し、国道 49 号においても依然として渋滞箇所が目立つ状況です。

特に、国道 49 号（富田地区）におきましては、東北自動車道郡山インターチェンジに至近であり、一日に上下線合わせて 64

台の高速及び乗合大型バスが停車するため、バス停留所付近で慢性的な交通渋滞が発生しており、市民の生活交通に多大な影響が出ているのが現状です。そこで、路線バス停留スペースを確保していただくことで、バス利用者の安全確保だけでなく、国道 49 号の渋滞緩和や多様化する道路空間へのニーズにも対応できる道路環境が構築されるものと考えております。

つきましては、国道 49 号（富田地区）バス停留スペースの確保につきまして早期に実現いただきますよう強く要望いたします。





通勤時間帯の様子（富田地区）



バス停留所付近（富田地区）



バス停留スペース設置要望箇所
(国道49号富田地区)

